

2011 年4月

「計画停電とホームページ」・・・情報弱者にならないために

最初はさっぱり訳がわからなかった。十分な事前予告のないままいきなり実施された「計画停電」。震災によるやむを得ないこととはいえ、東電ともあろう大企業が、あまりにお粗末な対応だった。何グループなのか、いつやるのか、やるのかやらないのか、先々どうなるのか・・・説明もさっぱり要領を得ない。グループ別計画を表やカレンダーにして示せばわかりやすいのに、口頭の説明ばかりで計画が見えてこない。加えてマスコミ記者の的外れな質問が混乱に一層拍車をかけた。

テレビの説明も大まかで不親切。痒いところになかなか届かない。なにより困ったのは、計画されていても実際にやるかどうかは前日又は直前までわからないこと。東電に言わせると、電力の需給のバランスと見通しをぎりぎりまで見て、出来るだけ停電しないように配慮するためという。その配慮が混乱の元にもなっている。「無計画停電」なんて言われた。

幸いその後節電が進んで、3月14日から始まった計画停電は4月8日で事実上終了した。この間停電が実施されたのは、我々のグループは3回。1回も実施されなかった所もある。あれだけ騒いでなんだったのか・・・。人々はみんな過剰反応して自衛策に走った。スーパーには長い行列が出来、売り場の棚から米やパン、カップ麺、トイレットペーパーなどが消えていった。交通機関は乱れ、企業や商店も大打撃を受けた。停電は少なかったが、その代償はあまりにも大きかった。

計画停電はなくなったが、これから夏場には、強制力のある電力使用制限が待っている。

ところで、今回の計画停電では、インターネットのホームページが大変役に立った。言うまでもなくホームページは情報の宝庫。わからないことは何でも教えてくれる。テレビ、新聞などの情報を補い、整理深堀りしてくれる。しかもネット環境さえあればすべて無料で利用できる。

東電のホームページも当初より大分充実してわかり易くなってきた。電力使用量と供給能力、前年比較などがグラフで1時間毎に表示され、電力使用状況や節電状況がひと目でわかる。ホームページならではの情報といえる。ただホームページを利用するには、パソコンにインターネットをつないでそれなりの操作をしなければならない。お年寄りなどにはまだまだ敷居が高い。

この計画停電が始まった時、市の放送による告知があった。要領を得ない説明のあと、「詳しくは市または東京電力のホームページをご覧ください・・・」。もう誰もがネットを利用しホームページを見ている前提の放送内容。ネットを利用していない人やわからない人はどうしろというのか。隣近所を見わたしてみても、お年寄りが多くてネットなんかわからない人ばかり。みんな怒っていた。

図らずも、ホームページの果たす役割りが大きくなる一方で、ネットを利用しない人が情報弱者となって格差が広がっているという現実を目の当たりにした。もうホームページでの情報伝達は当たり前、ネットを利用しないと情報弱者となって取り残されてしまう、そんな時代になってきた。そのうちややこしいことはみんな、「詳しいことはホームページをご覧ください」で済まされてしまうだろう。

もう「インターネットなんてわからない」・・・なんて言っていられません。もしまだネットを利用されていなければ、今からでも遅くありません、パソコンでネットに挑戦しようではありませんか。情報弱者にならないために。